

令和8年10月19日

課名 農林水産局販売・連携推進課

担当者 課長 田中

内線 3581

食のイノベーション推進事業の取組状況について

1 要旨・目的

農水産事業者の「稼ぐ力」を高めることを目的に実施している「食のイノベーション推進事業」について、取組状況を報告する。

2 現状・背景

県では、新たなビジネス創発を希望する意欲的な経営体の経営発展を促すため、農水産事業者と多様な業種の企業が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発する取組を進めるプログラム「Hiroshima FOOD BATON（ひろしまフードバトン）」を実施している。

3 令和8年度の取組概要

(1) プロジェクトの募集

5月14日、22日及び6月2日に県内3か所（広島市、福山市及び東広島市）で募集セミナーを開催するとともに、HPで情報発信を行い幅広くプロジェクトを募集した。また、応募希望者に対しては個別相談により審査までの間、応募プロジェクトのフォローアップを行った。

(2) 審査状況

農業、飲食業、流通業など幅広い業種の事業者から14件のプロジェクトの応募があり、適合性、革新性、将来性、貢献性及び環境性を評価項目として、7月16日から21日にかけて一次審査を行い、6件のプロジェクトを決定した。

その6件について、実行計画の具体化及び精緻化に向けた伴走支援を行った後、一次審査項目に妥当性及び実現性の項目を加え9月2日及び3日に二次審査を行い、3件のプロジェクトを採択した。

なお、審査は、食の専門家（県立広島大学教授）、事業評価の専門家（日本政策金融公庫）、合同会社MHDF（委託事業者）及び県職員が行った。

(3) 採択プロジェクトの概要

ア プロジェクト名：ワカイファーマーのアジア野菜プロジェクト

(ア) 起案代表者：ふぁみファーム（福山市）【農業経営体】

(イ) プロジェクト概要

- ・ 日本に暮らす外国人のアジア野菜へのニーズに応え、地域の農家や福祉事業所との連携により、持続可能な生産・販売の仕組みを構築することを目指す。

- ・ 福山市を拠点に、アジア野菜の栽培から出荷までの作業を地域で分担し、生産者の収益向上と福祉事業所の仕事づくりを進めることで、アジア野菜を通じて地域の農業と多様な人々の暮らしを支える事業モデルの確立に挑戦する。



イ プロジェクト名： 浜どまり魚の新流通プロジェクト

(ア) 起案代表者：株式会社七宝丸（広島市）【飲食業】

(イ) プロジェクト概要

- ・ 少量・不揃いで漁師が出荷を断念されている魚を調達・加工・急速冷凍し、業務用商材化することで、漁師の収入源の創出と飲食店の仕入れや調理の課題解決の同時実現を目指す。
- ・ 飲食店が扱いやすい物語性を持った冷凍商材の開発、自社店舗での販売実績とメニュー提案によるセット営業、集荷網拡大に向けた買取魚種・価格の設定をすることで、地域の漁村の浜どまり魚の商品化・流通モデルを確立し、県内の他の島々、全国の漁村への拡大を目指す。



ウ プロジェクト名： 商工農福連携プラットフォームプロジェクト

(ア) 起案代表者：株式会社八天堂ファーム（三原市）【地域商社】

(イ) プロジェクト概要

- ・ 自社農園（八天堂ぶどう園）で栽培するぶどうが持つ食感価値を活かした常温保存可能な「プレミアム食感ゼリー」を開発し、市場起点での販路開拓と生産者の経済的自立を両立する持続可能なビジネスモデルの確立を目指す。
- ・ 障害者等が関わる農福連携農場で発生する規格外品を加工原料として買い取り、生産者還元を実現するとともに、県内の他品目や他地域へも横展開可能なプラットフォームの構築により、持続可能な地域農業振興と地域経済貢献を目指す。



(4) 採択プロジェクト発表会・交流会

採択者の挑戦する過程の取材や更なるビジネスアイデアの創発を目的に、発表会・交流会を開催した。

- 日 時：令和 8 年 10 月 9 日（金）13：00 から 15：00 まで
- 場 所：紙屋町スウィング（広島市中区基町地下街 100）
- 内 容：令和 8 年度採択プロジェクトの事業計画の発表
令和 7 年度及び令和 6 年度採択プロジェクトの経過報告
メディアや関係者、採択事業者との交流会



4 これまでの採択プロジェクトの取組概要

(1) 令和 6 年度採択プロジェクト

プロジェクト名 (代表者)	プロジェクト概要	これまでの取組と成果
地域共創ハレノ ベジプロジェクト (オタフクソー ス株式会社)	・農作物を活用した調味料の開 発から販路までをワンストップ で支援するサービスを展開 ・生産者のブランド価値向上と 6 次産業化を推進	・東広島市や世羅の生産者の農作 物を使用したソース開発（2 商 品）、量販店や道の駅での販売 ・自社ブランド商品開発を検討中
怪獣レモンプロ ジェクト (株式会社瀬戸 内百姓)	・瀬戸内産レモンの規格外品を 「怪獣レモン」というブランド 原料に昇華 ・大企業とのコラボレーション 商品やオリジナル商品を展開	・大手企業とのコラボを通じた新 商品の全国展開を実施（R7：11 品 目） ・自社単独商品も開発し、広島駅な どで販売

ウェルビーイング野菜プロジェクト (株式会社ユウゲン)	・ウェルビーイング野菜として新しい流通価値基準を創出 ・認証の仕組みを構築し、野菜の付加価値向上に貢献	・全国の硝酸イオン平均値よりも25%少ない農作物をウェルビーイング野菜として認証する制度を構築 ・制度に賛同する生産者が40事業者まで拡大 ・全農の3-Rブランドと連携した取組みも実証中
---	--	---

(2) 令和7年度採択プロジェクト

プロジェクト名 (代表者)	プロジェクト概要	これまでの取組と成果
田万里家 RICE DONUT プロジェクト (株式会社あるね)	・竹原市田万里町で生まれた米粉ドーナツを主軸に、県内の農水産事業者と連携した商品を展開 ・農村発のスイーツブランド確立に挑戦	・令和7年度に延べ33回催事出店 ・近隣生産者の農産物を活用した米粉ピザや、産婦人科と連携した焼きドーナツを開発、販売 ・ひろしま里山グッドアワード大賞受賞(R7) ・ドッグラン開設やマルシェ開催により本店機能を強化
SETOUCHI HERB TEA (合同会社みなと組)	・因島産の高品質なハーブティーを、ハイエンドホテル向けアメニティ等として提供 ・広島県の新たな特産品としてブランド化を目指す	・令和7年度に商品完成 ・一流ホテル、飲食店と取引を開始(R7:8件) ・商品ホームページ作成中、ECサイトへの出品調整中
わらしべ農家プロジェクト (けわりも農店)	・食品工場等で発生する未利用資源を農業資材として活用 ・規格外農産物の買取も行い、各業界の未利用資源が社会に循環する仕組みを構築	・費用軽減につながる未利用資源を生産者65名が活用 ・未利用資源の販売店舗の拡大 ・米生産過程で発生する米ぬかの仕入れ・販売ルートを確立

5 予算(単県)

46,500 千円

6 今後の対応

採択事業者に対して、新たなビジネスが実現できるよう現地実証を支援する。